

July 2025

No.  
79

マチの未来をともに考える 議会だより にしわが

# ナジョスンベ



## 定例会報告....2

補正予算 条例改正 発議

未来をつくる提案・議論《一般質問》

委員会構成

みなさんの声をお聞きました《議会報告会》....10

所管事務調査を行います《常任委員会》....15

## “サブタイトルを変更します”

今号よりサブタイトルを「マチの未来をともに考える」に変更します。「町民と一緒に町の将来を考えていこう」という思いをよりストレートに伝えるためです。これから『ナジョスンベ』をよろしくお願いします。

表紙モデル：刈田彬さんと奥様 永年営んできた珠算塾教室にて19ページにインタビュー



## 発議第1号

# 西和賀町議会委員会条例改正

広報編集常任委員会の定員を5人から7人に増やす  
賛成多数で可決

反対  
討論

普本 議員

編集委員会内部では「広報編集業務に新人議員が携わったほうがいい」という話はしたが、「業務の負担軽減のために条例を変えて人数を増やしてほしい」と話し合ったことはない。負担軽減が必要なら、編集方法も含め、適切な人数を検討するなどの手続が必要ではないか。条例の改正に至る議論が足りていないと考え、反対する。

## 消費税5%以下への 引き下げを求める意見書

提案者：普本議員 賛成者：中村議員

賛成討論2人・反対討論1人  
反対多数で否決

国民の生活の安定のため、最も有効であると考えられる消費税減税を求める意見書を、関係機関に提出しようとするもの。

反対  
討論

刈田 議員

消費税は社会保障4経費（年金・医療費・介護・少子化対策）、社会保障施策全般に使われる。また、地方消費税交付金は町の財政を安定させるため重要だ。減税により財源の確保のめどが立たない場合、社会保障の維持が可能か不安である。

賛成  
討論

唐仁原 議員

消費税負担軽減がすべてを解決すると考えないが、現在、あらゆる物の値段が上がり、一方で、それに見合うほど賃金は増えず、実質賃金はマイナスが続いている。家計の負担軽減は待ったなしの状況であり、意見書の提出に賛成する。

賛成  
討論

中村 議員

物価高騰が続く中、国民の経済的ゆとり感が失われている。「国民が夢や希望を持ち潤いのある豊かな生活を営むことができる地域社会」と掲げる地方創生の実現や出生率の向上には消費税の減税がまずは必要である。

# 補正予算

**A** **Q**  
基本実施計画はプロポーザルで行うのか。敷地のレイアウト、病院との関連、動線、雪との関係、木造での建築等技

術的な提案が必要と考えプロポーザルで検討して行う。事業費には用地測量と地質調査業務委託料も含まれる。

プロポーザルで実施設計業務委託  
(仮称)西和賀町保健センター建設事業  
3660万2千円

みんなの声



たかだ ゆか  
高田 由佳さん  
(野々宿)

やはり病児保育は必要かなと感じます。新保健センターとともに検討していただけたら。半日や1日ぐらいなら仕事を休めても、何日も休むとなると、仕事や家計にも影響が出ます。病院などに併設した、病児保育があると、新しく移住してくる方も安心して子育てができるのかなと思います。

# 新保健センター 実施計画始まる

みんなの声



しばた げんき  
柴田 元気さん  
佐々木電気店

湯本保育園に子供を預けている親の一人として、西和賀町の子育て環境は申し分が無いと思っていますが、施設の老朽化については不安がありました。今回新しい施設が建設されることになりとても良かったと思っています。施設は園児が安心して過ごせるような設備を少しでも多く取り入れてほしい事と子供たちが将来に向けてたくましく育っていけるようにみんなの声も多く取り入れてほしいと思います。

**A** **Q**  
施設建設についての見通しは。湯田地区保育園の運営法人への事業費補助金として、新園舎設計発注に伴う補助金を計上したものである。3月に町の方針を決定し、

運営法人と用地の検討を進めていたが、おおむね見通しがついたため、予算化した。今年度は用地取得と設計業務を開始し、令和9年度から新園舎での保育をスタートさせるスケジュールである。

令和9年度新園舎で保育スタート  
にしわが愛児会新保育施設建設事業費補助金  
1644万5千円

令和7年6月10日から13日までの4日間  
西和賀町議会第15回定例会を開催しました。  
定例会での議論の一部を抜粋して紹介します。

みんなの声



さとう ただし  
佐藤 義さん  
「111coffee」カフェマスター

小学生の頃この公園に来たときは、草がぼうぼうと生い茂ってました。都会の暮らしを経験し地元に戻ろうと思い公園にふと寄った時、キャンプ場に整備され環境も素晴らしかったのでここでカフェをやろうと思い開業して5年を迎えます。シンボルである吊り橋が改修されることになって良かったと思います。安全やアクセス面ではとても重要なことで観光面では大いに期待できる公園と思っています。

**A** **Q**  
額が大きいものは、当初予算として計上すべきではないか。年度が始まったばかりの6月定例会で計上された理由は。令和5年度の定期検査で健全度の問題があり、昨年度、橋梁補修設計業務を実施したところ額が大きかったことから施工方法について精査するこ

ととし今回の補正となった。分割での補修も考えたが、一括での実施が最も適切であると判断した。焼地台公園には多くの人が訪れており、今後更なる増が見込まれる。吊り橋は町のランドマークとしても重要な存在と捉えている。

1シーズン延べ1万人が自然を満喫  
オロセのつり橋橋梁補修工事 6343万7千円





件名	結果
議会の運営に関すること	
委員会構成 <span>この表の下に詳細</span>	原案承認
常任委員会の所管事務調査 <span>産業建設常任委員会と総務教民常任委員会の活動</span>	原案承認
閉会中の広報編集常任委員会の開催 <span>1年を通して編集委員会を開催する必要があるため</span>	原案承認
閉会中の議会運営委員会の開催 <span>議会を開く前に、会期の検討等が必要となるため</span>	原案承認
議員派遣 <span>7月2日に秋田県五城目町を視察する</span>	原案承認

**委員会構成** 議会に設置された委員会の任期満了(2年)に伴い、構成を協議した結果、これまでと同じ構成で臨むことになりました。

なお、広報編集常任委員会については、中村ひとみ議員、高橋義彦議員が新たに加わりました。

総務教民常任委員会

◎ 柳沢 安雄

○ 高橋 敏樹

普本 歌織

高橋 宏

高橋 到

産業建設常任委員会

◎ 北村 嗣雄

○ 高橋 義彦

真嶋 実

中村 ひとみ

唐仁原 俊博

刈田 敏

広報編集常任委員会

◎ 真嶋 実

○ 唐仁原 俊博

普本 歌織

中村 ひとみ

高橋 敏樹

高橋 義彦

刈田 敏

議会運営委員会

◎ 高橋 到

○ 柳沢 安雄

北村 嗣雄

真嶋 実

刈田 敏

◎ 委員長 ○ 副委員長

賛否の分かれた案件												○賛成 ×反対
案件	北村 嗣雄	真嶋 実	普本 歌織	中村 ひとみ	高橋 敏樹	唐仁原 俊博	高橋 義彦	高橋 宏	高橋 到	柳沢 安雄	刈田 敏	結果
発議 1 号	西和賀町議会委員会条例の一部改正											可決
採決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議 2 号	消費税 5 % 以下への引き下げを求める意見書											否決
採決	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	

※議長は賛否が同数などの場合にのみ採決に参加します。これ以外は採決に参加しません。

# 審議の結果

第15回定例会で話し合ったこと、その結果

※ページ数が書いてあるものは議会だより内で詳しく取り上げています

議会だよりの審議や質疑の記事は、抜粋や要約をしています。正確には、後日町のホームページに公開する会議録をご覧ください。

<https://www.town.nishiwaga.lg.jp/chogikai/index.html>



件名	結果
専決処分の承認	
町税条例の一部改正	原案承認
国民健康保険税条例の一部改正	原案承認
令和6年度 一般会計補正予算(第10号) / 令和6年度 国民健康保険特別会計補正予算(第3号) / 令和6年度 下水道事業会計補正予算(第5号)	原案承認
条例改正 (法律・政令・省令などの改正などにあわせるもの)	
子ども、妊産婦、重度心身障がい者及びひとり親家庭医療費給付条例の一部改正	原案可決
地域経済牽引事業の促進区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正	原案可決
町職員の育児休業等に関する条例の一部改正	原案可決
令和7年度 補正予算	
一般会計補正予算(第1号) / 温泉事業特別会計補正予算(第1号) / 町立西和賀さわうち病院事業会計補正予算(第1号) / 水道事業会計補正予算(第1号) / 下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
その他	
消防ポンプ自動車の取得	原案可決
町立小中学校学習者用タブレット端末の取得	原案可決
除雪車の事故による損害賠償	原案可決
議員からの発議 議員が議案を議会に提出し、審議を求めたもの	
議会委員会条例の一部改正 <span>広報編集常任委員会の定員を5人から7人に</span>	原案可決
消費税5%以下への引き下げを求める意見書	原案否決



# 未来をつくる 提案・議論

## 一般質問報告

## 今回は5人が質問！



議員は町の行政、財政について、執行機関に質問できます。定例会では「一般質問」として、未来をつくるための提案・議論を行います。

議員名に「囲み」のある項目は記事掲載あり。掲載文の文責は各議員にあります。質疑応答の全文は、会議録ができ次第町ホームページで公開します。

### 教育

沢内小中学校建設検討委員会の検討内容と経過 普本  
保育所(園)の統合、保護者に随時説明を 普本  
保育所(園)統合条件の送迎支援の検討は 普本  
地域型スポーツクラブの現状と今後の見通し 普本／唐仁原

中学校部活動の地域移行への現状と課題 普本／唐仁原  
県立高校次期再編計画への町の要望は 刈田  
西和賀高校魅力化を町民にどう伝えていくか 刈田  
西和賀高校魅力化をどのように推進するか 刈田  
保育・小・中学校の更なる魅力化に取組むべきでは 真嶋

### まちづくり・地域づくり

第3次西和賀町総合計画策定に向けた重点戦略は 真嶋  
全行政区で住民懇談会を行うこととした経緯は 普本  
懇談会後の町民の意見を反映させる計画策定を 普本／唐仁原  
地域住民が主体となる空き家活用は 唐仁原

### 複合拠点施設

庁内の拠点施設整備プロジェクトの検討事項は 高橋宏  
大野地区が候補地になった経緯は 高橋宏  
中・小規模施設の地域ごとの計画も必要では 真嶋  
複数機能を導入するには担当課の配置が必要では 高橋宏  
施設の防災機能の具体的な内容は 高橋宏  
貝沢地区を中心とする北部開発への影響は 高橋宏  
保健福祉課の移転で沢内庁舎は支所の扱いでは 高橋宏

### くらし

町営住宅入居時の連帯保証人不要の検討は 普本

### 農業・林業

町内の民間ジビエ事業の状況は 唐仁原  
主食用米栽培対策へ農業みらいづくり基金の活用 高橋宏  
農業に参入する若い世代への支援体制は 高橋宏

### 観光

インバウンド獲得の町の展望、事業の予定は 唐仁原

### 行政・財政

職員提案制度が整備された背景と経緯 真嶋  
職員提案制度施行後の運用状況と実績は 真嶋  
財政力指数の推移はどのようなものか 刈田  
持続可能な財政運営の対策は 刈田

### 交通・A I オンデマンドバス運行

新システムの利点は発揮されているか 真嶋  
新システムの改善策は 真嶋

### 生涯学習・銀河ホール

「より開かれたホール」の町の考え方は 唐仁原

### 保護者に随時説明を



かおり 歌織  
ふもと 普本

### 保育所運営統合時の送迎支援は

個別の利用者に合わせて検討

### 町営住宅入居時の保証人確保

これまで示されたスケジュール案では、令和8年度に湯田・沢内地区で保育所(園)を統合し、各1園の運営体制を開始することとなっている。保護者への周知は十分か。また、保育所あり方検討委員会答申で統合の条件となっていた送迎支援は検討しているか。

### 町営住宅入居時の保証人確保

「町営住宅入居を検討したが、連帯保証人の確保が難しく断念した」という町民の声があった。連帯保証人を必要としない入居の方策について検討は。

緊急的な事情や状況により対応できる場合もあるので、まずはご相談いただきたい。今後の募集については、家賃債務保証法人との契約により、連帯保証人を不要とする制度改正を行う予定である。

運営統合に伴い、負担増となる保護者への影響についても調査し、必要に応じてヒアリング等行いながら、保育所(園)の先生方とも協議し、それぞれのご家族の状況に応じた送迎支援を検討する。



沢内地区保育所保護者会連合会が行った「保育所統合に向けたワークショップ」

### 県立高校次期再編計画



ざとし 敏  
かりた 刈田

### 地域検討会議に何を要望

財政・人事的な支援を

県教育委員会は、5月から6月にかけて、地域の代表者等と意見交換を行う「今後の県立高校に関する地域検討会議」を県内各地で実施するなど、県立高校の次期再編計画を作るために動いている。町は県教委に対して、どのような意見や要望を伝えるか。

### 魅力化をどう推進

高校の魅力化は地域の魅力化に繋がること、生徒一人ひとりを伸ばす指導体制を続けていくためにも定員増に合わせた教職員の配置により力添えを頂きたいとの意見等が出されている。高校と地域連携の推進の取り組みについてのビジョンを踏まえ、財政・人事的な支援面について要望していきたい。

### 魅力化をどう推進

町民に向けて高校の魅力化をどのように伝えていく考えか。

### 西和賀高校の魅力化は、町全体に活気を与えてく



東京で行われる県外募集対面説明会でも積極的にPRを実施

### 今後、西和賀高校の魅力化をどのように推進していく考えか。

今後、西和賀高校の魅力化をどのように推進していく考えか。

### 高校、町、地域が一丸となり、中学生が積極的に高校づくりに取り組んでいくことが大切だ。

高校、町、地域が一丸となり、中学生が積極的に高校づくりに取り組んでいくことが大切だ。





とうじんばらとしひろ  
唐仁原俊博

## 住民主体での空き家活用は

法令遵守で進める必要がある

**Q** 空き家は私有財産なので、行政が踏み込むには限界がある。空き家の活用が進んでいる自治体では住民主体で動いているケースが多いようだ。

**A** 現在、人口が800弱、高齢化率が58・4%の宮城県栗原市の花山地区では、持続可能な地域づくりを目指す一般社団法人はなやまネットワークが中心となつて、「空き家片付け隊」を行っている。これは、「水洗トイレ」「シャワーあり」「駐車スペースあり」「立地がいい」など、移住者にとって条件のいい空き家を、ボランティアで片付ける取り組みだ。

**Q** 空き家活用を進めるには、使えそうな空き家をリスト化したり、所有者と連絡を取ったり、空き家を片付けたりといった役割を地域が担う必要があるのではないか。

**A** 地域の方々が日頃から見聞きしている空き家に関する情報は、行政だけでは把握



空き家周辺の遊休農地、ヤギに管理してもらう手も！？

## 「複合拠点施設が整備された場合町の今後は



ひろし  
たかはし  
高橋

## 事業推進担当課を入れるべきでは

行政組織が入ることは考えていない

**Q** 「複合拠点施設」の整備について、庁内の「拠点施設整備プロジェクト」ではどのような事項が検討されたか。

**A** 道の駅の移転を検討したことがベースにある。単純に道の駅を移転させるだけでなく、防災拠点や交流拠点、将来的に町民が活用できる機能を有した拠点施設として整備するという方向性となった。

**Q** 観光振興・産業振興の拠点、防災機能の導入などを旨とするのであれば、それぞれの担当課が施設内に配置されるべきではないか。

**A** 「拠点」という言葉の捉え方に違いがある。地方創生戦略の最前線としての「拠点」と考えており、行政組織が入ることは考えていない。また、昨今の情報通信技術の発達により、災害対応なども、物理的な距離があっても、リアルタイムで綿密な連携ができると考える。

**Q** 北部開発への影響は

**A** 既存の産直施設などのお客を奪うのではなく、これまで西和賀町に足を運んだことのない、新たな層を呼び込むことにより地域全体の活用化を図ろうとしている。

**Q** 健康福祉課は、現在計画中の「保健センター」（保健・子育て・包括支援拠点施設）に移転する予定になっている。実質、沢内庁舎は支所の扱いとなるのでは。

**A** 令和4年度に庁舎改修が行われ、建物の長寿命化が図られた。公共施設の有効活用という観点から大切に使い続ける。沢内庁舎の位置づけを支所とする考えはない。



湯沢庁舎が被災した際には西和賀消防署の2階に災害対策本部が移管される。



まこと  
しまざき  
真嶋

## 町の未来、地域ごとの計画は

まずは複合拠点施設に全力

**Q** すぐできる改善策、解決に時間を要する課題は何か

**A** 予約をしてバスに乘車することに抵抗感があること、一部の時間帯での予約がしづらいことなどから、従来の定時路線利用に慣れた町民が、利用を諦めてしまうケースもあると認識している。AIオンデマンド交通を1回でも利用していただき、利用に対する抵抗感をなくしていくことが重要だ。さわうち病院での住民説明窓口の設置や集落支援員による相談受付、各地域における出前講座などを引き続き実施し、丁寧に説明を行いながら周知を図る。病院利用以外にも、具体的なモデル利用例など作成し、新たな利用者の掘り起こしや利用促進を図っていく。

した中・小規模の「複合拠点施設」も視野に入れた町全体のゾーニング（地域ごとの計画）が必要ではないか

**A** 町としても、地域ごとの特性に応じた施設整備は重要と考えている。しかし、今取り組もうとする複合拠点は単なる一点集中開発ではない。町外から新たな需要を呼び込み、地域内の経済循環を拡大する「町のエンジン」ともいうべき基幹インフラと位置づけている。まずは中核となる複合拠点施設の整備と運営に全力を注ぎ、町としての経済的な基盤と運営ノウハウを蓄積したうえで、次のステップとして、「地域ごとの拠点」や「ゾーニング」に段階的に着手していく。



AIオンデマンドバス、運行開始から3ヶ月が経った

## 議会傍聴はどなたでもできます。 途中入退室は自由です。 ぜひ、生の議会を体験してください。

### 傍聴方法

●傍聴の受付場所 役場3階議場前

①傍聴人受付名簿に名前を記入

②資料を受け取り入場

※入退場自由／傍聴20席程度、車いす2席程度可能



次回の定例会は  
**9月上旬**  
の予定です。

正式な日程は、8月下旬に  
町ホームページに掲載します。

\* 個人情報保護法  
個人情報を取り扱う場合、非営利組織であっても、「あらかじめ利用目的を特定する」「特定した利用目的を本人に伝えるか、あらかじめ公表する」「個人情報は安全に管理する」など、個人情報保護法に則った扱いが求められる。

\* はなやまネットワーク  
「空き家片付け隊」など、はなやまネットワークの活動については公式サイトが詳しい。

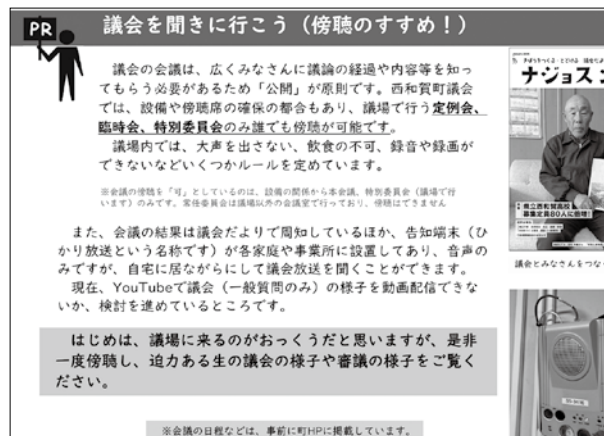
<https://hana-net.org/>







新町会場



当日資料より

## 当日の流れ

- 1 開会
- 2 町政調査会会長挨拶
- 3 出席者(議員)自己紹介
- 4 議会からの報告(10分)
- 5 意見交換(45分)



湯田庁舎会場

# 報 告 内 容

## この2年間取り組んできたこと

議会からの報告では、改選後の2年間の活動を中心にお伝えしました。

### ●常任委員会活動

産業建設常任委員会が泉沢地区の穴堰に関する陳情で現地調査を行い、審査した。  
広報常任委員会が議会広報のリニューアルに取り組んだ。

### ●行政視察

行政視察の実施方法を含め検討しながら実施し、初の試みで報告会を行った。

### ●特別委員会

議員定数あり方検討委員会を設置し、議員定数と報酬の検討を行っている。  
議会あり方検討委員会では議会基本条例等を検討し、議長へ答申した。

### ●住民の声を聴く会

令和5年度は保育所(園)保護者のみなさん、令和6年度はにしわが建設会のみなさんと懇談を行った。そのほか、「議会の役割」「議員の構成と活動」「一般質問の状況」などを資料によりお知らせし、議会からのPRとして、議会傍聴のすすめや請願・陳情の受付などについても説明した。



当日資料より



湯本会場



新田郷会場

# みなさんの声をお聞きました

## 議会報告会

### 初めての試み

町議会が今のメンバーになって2年。町民のみなさんとの様々なやりとりから、「議会は町民の皆さんのもののはずなのに、どんなことが行われているかわからない方が多いのでは?」「もっと議会の活動について知っていただき、十分活用していただく必要があるのでは?」という声が議会内から出てきました。

そこで、「議会報告会」という形で、町民の皆さんに議会の活動を知っていただくとともに、町民のみなさんからの声をお聞きする機会をつくることにしました。これまで「住民の声を聴く会」という形でみなさんの声を聞いてきましたが、今回のような「議会報告会」は初めての試みです。

内容は、この2年議会が取り組んできたことを報告するほか、議会の基本的な事項の説明をし、町民のみなさんからの声をお聞きすることになりました。寄せられた質問については議会広報でお知らせすることとし、会場は町内6カ所としました。

## 貴重な機会との声も

議会報告会は3月24～31日の日程で行い、町のホームページで告知したほか、告知端末で参加を呼びかけました。各会場では議会に対する質問やご意見(12～13P)、町の事業に対する声(14P)と、多岐にわたる話題が出されました。基本的に全議員が出席していたことについて「このような機会はなかなかない」「貴重な機会」との発言も複数の会場でありました。

実施会場、それぞれの参加人数は右表のとおりです。

## 日程・各会場の出席人数

日時	会場	参加人数
3月24日	川舟地区公民館	11人
3月25日	泉沢公民館	14人
3月26日	新町公民館	4人
3月27日	旧湯本地区公民館	4人
3月28日	湯田庁舎(オンラインあり)	5人(会場3人 オンライン2人)
3月31日	旧新田郷地区公民館	7人



泉沢会場



川舟会場



# ご意見・ご要望

「川舟の家」の管理はどうなっているのか。  
景観的、衛生的にも問題だと思う。

議会広報がすごくいい。内容も深く、  
読むことでまた考えることもできる。  
さらなる充実を期待する。

議会の中継がひかり放送のみだが、  
ユーチューブなども必要で、  
若い人にも関心をもってもらうことが大切。  
議会には情報発信という点でも頑張してほしい。

選挙があれば、みなさんの政策の公報が  
あるはずなのに、ぜひ見たかった。

議員それぞれが情報発信をしてもらい、  
議員それぞれの考え方がわからないと  
相談しにくいし、議会報告会への参加  
者も増えないのではないかな。

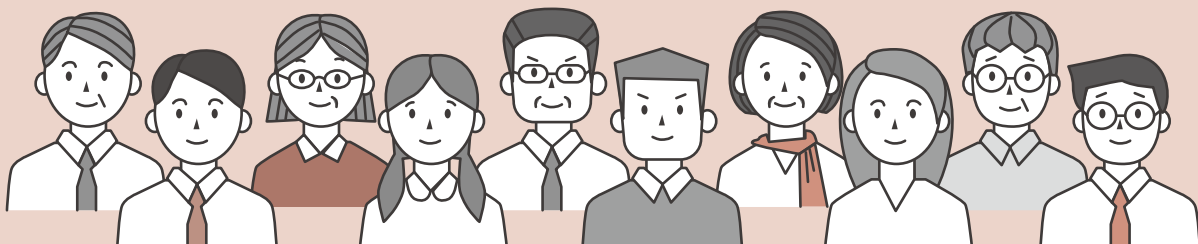
今回の報告会の告知は十分ではないのではないか。  
参加者が40名弱では残念。  
大事な会なので告知の方法を工夫してほしい。

子どもが小さいのでこのような  
オンライン開催はありがたい。

各議員は、自分のやっていることを住民に  
説明することに重点を置いてほしい。  
各議員のやっていることが分かったら、  
住民も意見を出しやすいと思います。

議員の中で発言する人、しない人がいる。  
今のままでは議員を減らしたほうがいいと思う。  
何かしらの疑問点があるはずなのに発言しないのであれば  
定数を減らし、個人の報酬を上げたほうがいいと思う。

いただいたご意見は今後の  
議会活動に生かしていきます。



# みなさん からの声 ～議会に対して～

議会報告会で町民のみなさんから寄せられた議会に対する質問と、それに対する議会からの答えを記載します。

**Q** 議会が中継されていて、日中は仕事で聴くことができない。ユーチューブによる議会配信をしたらどうか？

**A** 広報編集常任委員会が担当となり、検討を進めています。非公開でテスト配信を行ったことはありますが、まだ皆さんへの配信には至っていません。

**Q** 議員定数と議員報酬についてはどのように考えている？ 検討は議員だけですか？

**A** 令和6年度から「議員定数あり方検討委員会」を議会内で立ち上げ、検討を進めているところです。7月中旬に答申を出せるように進めてお

り、今年度中には町民の皆さんの意見も聞くなどして、次の選挙に向けた方向性を定めたいと考えています。第三者を入れる予定は今のところありません。

**Q** 一般質問での反問権についてはどのように考えている？

**A** 議会基本条例に「町長等は、議員の質問及び提言に対して議長の許可を得て反問することができ」と規定されています。

\*反問権：質問者に対して問い返すことができる権利。地方議会（市議会や町議会など）において、首長（市長や町長など）に付与された権利を指すことが多い。（新語時事用語辞典より）

**Q** 人口規模が同等の九戸村などと予算規模を比較してはどうか？

**A** 人口規模の他、産業構造や面積などの違いがあり、単純に比較するのは難しいとは思いますが、そういったことも含めて政策研究会などで学習を進め、予算・決算の審議に生かしたいと考えています。

**Q** 保育所の統合について、議会と当局の間で情報共有はなされている？

**A** 「保育所あり方検討委員会」「小中学校あり方検討委員会」の答申が出た時に、議会にも説明がありました。沢内地区保育所の令和7年度からの運営統合についても、令和6年度の1月に説明がありました。

**Q** 住民から意見を聞く会を今後も開く予定はある？

**A** 今後も機会をつくっていきます！



## こんな質問も・・・

議員各自町民の声を十分に聞き取れているか。自己評価として何%か。

次年度の事業について（予算審議）、どのような意識で可決したのか、議員それぞれの声を聞きたい。

少子高齢化している町のあるべき姿は。各議員の考えを聞きたい。

町の産業について、各議員の考えを聞きたい。

議員の定数と報酬について議員それぞれの意見を聞きたい。



今回は議員一人一人の意見を述べることはしませんでした。みなさんからはこのような声も寄せられました。



町の課題を明らかにし、  
政策提言につなげるため  
これまで以上に常任委員会が活動します。



議会が開かれていないときにも  
所管事務調査を行います

議会に設置されている委員会は、原則として、  
会期中(定例会や臨時会の期間)にしか活動できませんが、  
第15回定例会において、閉会中(会期中以外の期間)にも  
活動することを決めました。

産業建設常任委員会と総務教民常任委員会は  
それぞれテーマを決めて、所管事務調査を行います。

所管事務調査：町の事務(行政が行う仕事)について、  
政策提言などにつなげるために、委員会が自主的に行う調査

## 産業建設常任委員会

テーマ

### 町内上下水道施設の 現状と課題の把握

上下水道は重要なインフラのひとつだが、令和7年7月から水道料金が改定され、  
更には4年に一度、料金の見直しが予定されている。建設水道課案内のもと、町内全  
施設の現地調査を行い、現状と課題を把握  
する。



## 総務教民常任委員会

テーマ

### 町の介護施設の 現状と課題の把握

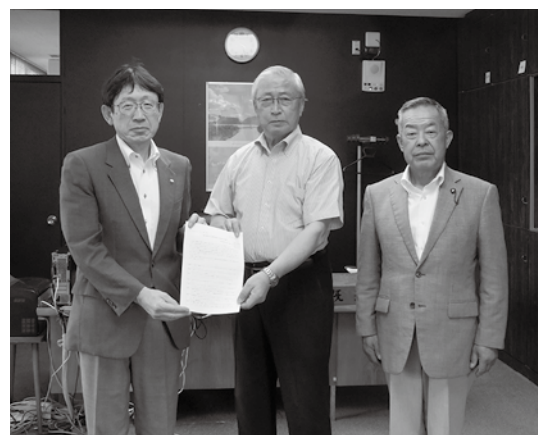
高齢化・人口減少が進む社会情勢において町内の介護施設における高齢者への支援、  
職員の勤務状況、介護サービスの在り方等について現状把握や理解を深める。また、  
将来にわたり高齢者が安心して健やかに暮らせるまちづくりを目指して調査・研究を進める。



# みなさん からの声

～町の事業に対して～

議会報告会では、町の事業に対する  
質問や要望も寄せられました。これ  
らの意見や要望も町長にすべて伝え、  
今後の町政に生かしてもらおうと求



みなさんからの質問・要望を町長へ

## 意見

めました。質問については回答が届  
きましたら、改めて議会広報でお知  
らせします。

## 公共交通

●乗車人数が少ない日中のバスはワゴン車  
でもいいのでは。  
●車を利用しないので、オンデマンドバス  
はありがたい。病院への通院に使って  
いるが、バスが利用できる日が週1回  
から週3回になった。  
●オンデマンドバスの利用の仕方が、電話  
でも予約できることは分かっているが、  
分かりにくいという人もいます。

## 空き家

●空き家バンクに登録するにもある程度片  
付けが必要。片付けの補助が必要なの  
ではないか。新たに戸建てで住宅・ア  
パートを建てるよりお金からからないの  
ではないかと思うので、空き家の活用  
を考えてほしい。

## 役場の業務

●役場の業務の担当に地域おこし協力隊を  
つけることに疑問を感じる。人員不足  
は承知しているが。  
●役場の人員不足や専門性が必要な職務に  
ついて、地域おこし協力隊の使い方も  
合わせて前向きに検討が必要と思う。

## 銀河ホール

●来年度から銀河ホールで専門技術を持つ  
た人員を地域おこし協力隊として採用  
予定とのことだが、このことは他の分

## 要望

## 人口減少

●行事、建物など湯田方面に一極集中に  
なっており、寂しいところはほとんど荒れ  
ていくように思う。

## インフラ整備

●なめとこライン(県道12号線)の冬期通  
行止め期間を短くして欲しい。  
●県道1号線泉沢のバイパス工事は、町で  
は状況を把握しているのか。現状の説  
明をしてほしい。  
●新町の流雪溝は、幹線から新町の流雪溝  
に入るまでの側溝が細くなったり太く  
なったり浅くなったり深くなったりで、  
結局一番浅いところの水量しか来ない。  
改善してほしい。

●泉沢の穴堰の早期の予算化を願う。防火  
用水、生活用水も含めて必要な用水路  
なので、早急に応急処置だけでもお願  
いしたい。

●桐沢・川舟間の東幹線(町道)は、雪解  
け時に倒木や土砂が残っていることが  
多いので、早めに整備してほしい

## 観光振興

●「川舟カルデラ」の観光振興を進めて欲  
しい。  
●高田沢山は町にとって重要な観光資源で、  
冬も登山客がいる人気の山である。駐

●車場を整備してほしい。  
●白糸の滝などの山道の整備や標識の整備  
を早急にお願したい。

## 子育て支援

●公園など、休みの日に子どもが遊べる場  
所が少ないので、整備してほしい。学童、  
保育所、トレセンなど活用できるように  
してほしい。

●乳幼児健診について、1歳半を過ぎてか  
1歳6か月健診の通知が来るなど、通知  
の時期がずれることがあった。予防接種  
についても通知が来て病院に行くと「ま  
だ早い」と言われることがあり、戸惑った。  
改善してほしい。

## 情報共有

●小・中一貫校と同じ場所に併設して保育  
所をということであるが、今後どうい  
う動きになるのか知りたい。保育所の  
整備場所が決まらないと園の送迎と出  
勤の時間の見込みが立たないので、早  
めに情報を発信してほしい。早めの情  
報発信のためにインターネットを利用  
するなどの方法も考えられるのではな  
いか。説明会など、町の方との意見交  
換会の方が少ないと感じている。情報  
を出してほしい。

## 情報共有

●空き家対策について、もっと力を入れてほ  
しい。解体や再利用の際、当事者の負担  
が大きいので、補助金等を増やしてほしい。

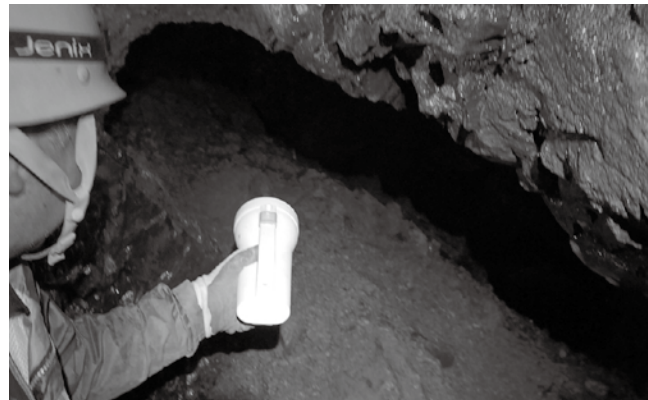


# 議会と議員はなにをしてら？



## 現地調査

### 間木野隧道崩落を確認



4月24日、農林課主催の間木野地区隧道現場探索会に町議会から議員8名が参加し、間木野地区の農家の案内で隧道崩落現場の状況を確認しました。間木野地区隧道は令和5年7月7月の大雨災害により崩落し、現在は仮設ポンプを設置して用水を確保しています。令和6年度には「間木野隧道長寿命化調査検討業務」が実施され、令和7年度は農業用水路等長寿命化・防災減災事業5,000万円が予算化されています。

## 県南地区町議会議長会議員研修会

### 森林資源生かし町の活性化



6月18日、県南地区町議会（平泉・住田・金ヶ崎・西和賀）議長会議員研修会が住田町で開催され、チェーンソーアートの取り組みを学びました。杣遊会(そまゆうかい)は森林の持つ可能性や大切さ、木の持つ優しさ・素晴らしさを、未来を担う子どもたちに伝えたいと、震災の前年に設立されました。震災後も競技会や技術講習、作品展示を広く行い、令和3年からは町「地域創造学」との連携し「アートの森」構想を展開しています。

## 秋田県五城目町を視察研修

### 町民の願いから生まれた小学校



7月2日、秋田県五城目町を訪れ、町民主体の「スクールトーク」から生まれた五城目小学校の行政視察を行いました。地域のさまざまな境界線を越えることを目指した「超える学校」のコンセプトのもと、木質建築の開放感ある校舎での授業の様子や、都会と地方の距離を超える教育留学の取り組み、全町民が世代を超えて受講できる「みんなの学校」など、小さな町の大きな挑戦を学びました。

## 新潟県胎内市視察受入

### 本紙のリニューアルに注目



7月1日、240kmの道程を経て、議会報編集特別委員会のみなさんが来訪し、当町では広報編集常任委員会が対応しました。広報誌の予算、文字のポイント、フォントの使い方等の編集の細部から、広聴活動、表紙写真の決め方などについて質問が出されました。タイトル変更時や裏表紙議員紹介への反響等にも言及があり、本紙のリニューアルに注目していただきました。

## 政策研究会

### 集落支援、地域に寄り添って



4月23日、集落支援員の活動、農村（集落）RMO、二地域居住制度の3つをテーマに開催されました。集落支援員からは「スマホ相談」「ワクワク教室」「サロン立ち上げ支援」「地域計画作成支援」などの様子が報告されました。AIオンデマンド運行が3月に始まり、バス利用の相談対応に、支援員の役割が大きくなっています。今年度重点事項として「集落カルテ」作成が掲げられ、自治組織活動での支援員の更なる活躍が期待されます。

## 岩手町議会視察受入

### 議会運営・広報に意見交換



5月16日、岩手町議会の議会活性化に関する調査特別委員会が来訪しました。本町議会では議会運営委員会が対応し「議会基本条例」と「議会運営」、「議員による広報づくりについて」と「議会広報モニター制度」について説明しました。岩手町議会では本年3月「岩手町議会基本条例」が制定され、その運用について意見交換がされました。また、広報編集における議員と事務局の役割について熱心な質問がありました。

## ●主な議会公式行動 R7.3.2～R7.6.9まで

3月	24日 月	広報編集常任委員会 令和6年度西和賀町教育委員会・西和賀町体育協会表彰式 議会報告会「川舟地区公民館」 令和7年3月末町職員辞令交付式
	25日 火	議会報告会「泉沢会館」 地域おこし協力隊活動報告会
	26日 水	広報編集常任委員会 議会報告会「新町公民館」 令和6年度消防表彰受賞記念祝賀会
	27日 木	議会報告会「旧湯本地区公民館」
	28日 金	広報編集常任委員会 議会報告会「湯田庁舎」 令和7年3月末町職員辞令交付式
4月	31日 月	議会報告会「旧新田郷地区公民館」 令和7年度町職員辞令交付式 令和7年度教職員着任式・辞令交付式
	1日 火	町政調査会幹事会
	4日 金	令和7年度町立沢内小学校入学式 令和7年度町立湯田中学校入学式 令和7年度町立沢内中学校入学式 議会運営委員会
	7日 月	令和7年度町立湯田小学校入学式 令和7年度転入教職員歓迎会
	8日 火	令和7年度町政調査会総会
5月	9日 水	令和7年度北上地方交通安全協会沢内支会総会 金ヶ崎町議会町議会広報全国コンクール20年連続入賞記念祝賀会
	11日 金	陸上自衛隊東北方面音楽演奏会 議員定数等ありかた検討委員会
	12日 土	町政調査会幹事会
	13日 日	議会定例報告会・政策研究会 令和7年春の交通安全功労者等の表彰式
	18日 金	令和7年度西和賀町消防関係者歓送迎会 北上西和賀地区戦没者追悼式 広報編集常任委員会
6月	23日 水	町政調査会幹事会
	25日 金	令和7年度西和賀町老人クラブ連合会総会 oga山人レセプションパーティー
	30日 水	西わらびお披露目会&「ゆうパック」出発式 議員定数等ありかた検討委員会
	2日 金	岩手町議会行政視察 広報編集常任委員会
	9日 金	令和7年度県南地区町議会議長会総会 建設業協会北上支部定期総会 岩手県町議会議員研修会
7月	14日 水	令和7年度西和賀商工会通常総会 議会運営委員会
	15日 木	令和7年度町村議会議長・副議長研修会 一般国道107号(川尻・当楽)改良整備促進期成同盟会に係る令和7年度総会
	16日 金	北上地方交通安全協会通常総会 広報編集常任委員会
	20日 火	水道広域化事業完成通水式典
	22日 木	岩手県町議会議長会第1回理事会、臨時総会 令和7年度西和賀町観光協会総会 議会運営委員会 第15回定例会資料説明会

## このように 議長交際費をお知らせします

(令和6年12月11日～令和7年3月31日までの内訳)

	お祝い	1件	10,000円
	会費	8件	63,000円
	お悔み (花輪なども含みます)	0件	0円





たくさんの生徒が学んだ教室で思い出を語っていただきました

西和賀町に移住して頑張っている人や生まれてから現在まで西和賀町で暮らす皆さんを紹介します。

## ひろがれ!! 西和賀の輪 Vol.29

かりた 西田 彬 さん 妻・アツ子 さん (川尻89歳・82歳)

川尻生まれの彬さんと横手生まれのアツ子さんは、昭和39年に結婚し、昨年結婚60年を迎えました。昭和34年に彬さんがはじめた珠算塾を平成28年に閉じるまで、二人三脚で営んできました。彬さんは地区協議会や川尻観光協会などの活動に尽力するとともに湯田町の監査委員を14年務めました。

**問** 議会や町に望むことは、  
この町には魅力ある場所がたくさんあるので、観光客がまた来たいと思う環境を整備してほしい。他には、道路の整備。道路が壊れていることに不満を持っている住民は多いと思います。

**問** 現在取り組んでいることは、  
これまでの活動により生まれてきた書類の整理をしています。そろばん塾に加えて、地区協議会や納税組合、交通安全協会、川尻観光協会など様々な活動をしてきました。平成3年から17年の町村合併まで、湯田町の監査委員もしておりまして、各活動においての資料や記念誌、広報誌などが山ほどあり、その整理をしています。

**問** 刈田さんといえば「そろばん塾」ですが  
高校在学中にそろばんを始め、卒業と同時にそろばんの仕事につきました。川尻を皮切りに、湯本、新町、秋田県湯沢市に3か所、計6か所のそろばん塾を運営。各塾週2回の運営に加えて、若い頃は黒沢尻南高校定時制川尻分校で9年間非常勤講師として授業を受け持っていましたので、まさに休む暇がなかったです。57年間のそろばん塾で通った生徒は、延べ5809人です。とにかく忙しく大変なことしか覚えていませんが、生徒たちの成績が上がり喜ぶ姿を見るのが私にとってもこの上ない喜びでした。



### 写真を多く使って

良かった記事は、若手農業者座談会。今後も写真をたくさん使ってほしい。  
(大野 石川勝さん)



お便りいただきありがとうございます。編集委員会としても写真を多く使い、見やすく読みやすい広報紙にするよう努めています。しかし、なかなか動きのある、表情豊かな写真を撮影するのは難しいものですね。少しでも腕を上げられるよう頑張ります。  
(刈田敏編集委員)



### 地名や文化財の紹介を

西和賀各地区または集落の地名や文化財などの紹介をしてほしい。  
(湯本 照井定子さん)

お葉書有難うございます。地名や文化財など町の歴史の掘りおこし、大切ですね。ところで、オロセグラの名前の由来をご存じの方いるでしょうか？教えていただけると嬉しいです。  
(真嶋実編集委員長)



いつも読んでいただきありがとうございます。まさにスミからスミまで読んでいただき、編集委員一同、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、手に取ってもらい、スミからスミまで読んでいただけるよう努力してまいります。  
(高橋敏樹編集委員)



### 若い人のがんばり素晴らしい！

とても読みやすくなった議会だより。今回は中身が十分よく、読み終えるのに時間がかかりました。すばらしかったです。良かった記事は農業者座談会で、若人が頑張っているこの町のために考えていてくれるところがすばらしいと思います。  
(泉沢 石川房子さん)



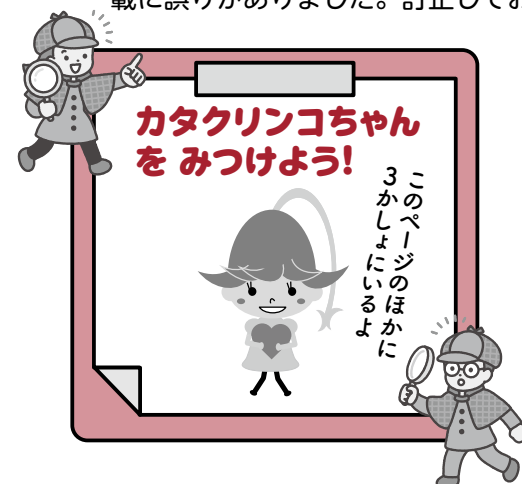
ほかにも声をお寄せくださった皆さん、ありがとうございました！

### 【訂正とおわび】

議会だよりNo.78(令和7年4月15日発行)特集記事「中学生議会報告 町をよりよく！こんな提案どうでしょう？」内で氏名の記載に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

誤：P27 学年主任氏名 高橋通  
P31 生徒氏名 赤石沙良

正：P27 学年主任氏名 高橋由紀夫  
P31 生徒氏名 赤石紗良



## 特集記事について

今号では「ユキノチカラ」を特集する予定でしたが、広報編集常任委員会内での議論が不十分であったこと、内容をさらに充実させられる可能性があること、また議会だより発行予算の関係から、掲載を見合わせました。予告していたにもかかわらず申し訳ありません。次号での「ユキノチカラ」特集をお楽しみに！

## 紙上クイズ スミからスミまで

**問題文** 空欄に適切な言葉を入れてご応募ください。当選者には景品を差し上げます!!

- 1 焼地台公園の〇〇〇の吊り橋が補修されることになった。(カタカナ3文字)
- 2 集落支援員が中心になり「集落〇〇〇」を作成中。(カタカナ3文字)
- 3 広報編集常任委員会が〇〇県胎内市議会の視察を受け入れた。(漢字2文字)

### 応募方法

はがき、ファックス、WEB(Googleフォーム)で、答え、住所、氏名(ふりがな)、年齢、連絡先をご記入ください。また、①今号で良かった記事 ②取り上げてほしい内容や企画 ③議会に対するご要望、ご意見などあわせてご記入ください。今後の「西和賀町議会だより」の発行にあたり、皆さんの意見を参考にするほか、寄せられた意見を次号に一部掲載します。なお、匿名での受け付けはしません。

前号の答え 1 水 2 39 3 地域

### 応募先

- 〒029-5512 西和賀町川尻40-40-71 西和賀町議会事務局「議会だより紙上クイズ」係まで、
- ファックスの場合は0197-82-2171まで、
- Googleフォームの場合は右のQRコードを読み取りご応募ください。



【締め切り】  
7月31日消印有効とします。

【No.78の当選者の発表】 石川 勝(大野)、有馬 由菜(鍵飯)、小田島 学(上野々)

おめでとうございます。!



# 「ひとつの庁舎」の可能性を考えよう

未来の西和賀をつくるキミにおくじ！  
メッセー

どんな町にしたい？  
農業で儲けられる町に！  
去年、集落の人と一緒に「株式会社弁天」を作り、集落の農地をまとめた耕作・管理しています。「まとまった農地をすぐに使える環境」「農業で稼ぎやすい環境」があれば、「農業をやりたい」という人に、すぐにバトンタッチできます！

高橋 宏  
農業の後継者が稼げる仕組みづくり

七内を含む弁天地区では、10年以上前から地域の人たちが一緒にリンドウを生産しています。最近ではバイトとして西和賀高校の生徒にも収穫を手伝ってもらっています。西和賀を代表する花ですが、「リンドウを初めて見た」という生徒もいるので、もっと多くの生徒にふれてみてほしいです。

活動テーマ  
湯田庁舎・沢内庁舎を  
ひとつにまとめられないか。  
高齢者にとっても、これから町に来る人にとっても便利ははず！

七内集落生まれ。  
西和賀高校ボート部として全国入賞を達成。  
農業短期大学を卒業後、実家の農業を継ぎました。  
以前は牛の削蹄師、今は酪農ヘルパーとして、牛にかかわる仕事も続けています。

●各号、議員がひとりずつ登場し、皆さんに呼びかけます！

こびりっこ

編集後記

高校野球岩手県大会が始まり、いよいよ夏本番。西和賀高校の試合が楽しみです。スポーツには心身を豊かにしてくれる力があります。西和賀町のスポーツ環境を考えてみると、野球やバレーボールなどのメジャー競技はもちろん、冬はスキーやスポーツ雪合戦、夏はボートや登山など、様々なスポーツができるので、とても素晴らしいところだと改めて感じます。今、町では総合型地域スポーツクラブの設立の準備をしています。総合型地域スポーツクラブができ、子供から高齢者までの全ての町民が、いろんなスポーツに取り組み、元気で幸せに過ごせればいいと思います。

広報編集常任委員会

委員 高橋 敏樹

【発行責任者】

議長 高橋 雅一

【議会だよりは広報編集常任委員会編集しています】

委員長 真嶋 実  
副委員長 唐仁原 俊博  
委員 普本 歌織  
中村ひとみ  
高橋 義彦  
高橋 敏樹  
刈田 敏

// // // //

マナの未来とともに考える  
議会だより にしわが

ナジヨスンベ

No. 79

発行日/令和7年7月15日、年4回発行  
編集/岩手県・西和賀町議会広報編集常任委員会  
印刷/鶴田印刷株式会社・横手市

発行/岩手県・西和賀町議会  
〒029-0022 岩手県西和賀町川尻40地割40番地71  
西和賀町(湯田庁舎) TEL 0197-(82)2115 FAX 0197-(82)2171

VEGETABLE OIL INK

議会だよりは、過去に発行した分も含めて西和賀町公式ホームページでご覧いただけます

<https://www.town.nishiwaga.lg.jp>

